

～「学研木津北地区」というのは鹿背山の里山のこと 里山活動を楽しみながら、里山再生に取り組んでいます～

里山の自然

美しくて素晴らしい豊かな自然の鹿背山では、初夏に咲く可憐な白花の「ツルアリドオシ」や紫が里山に映える「タツナミソウ」を愛でることができる半面、「スズメバチ」、「マムシ」や「キツネノボタン」といった毒虫や毒草もセットになっているのが、あるべき自然の姿です。



ツルアリドオシ



タツナミソウ



キツネノボタン

毒虫や毒草、落石、倒木・・・と、自然のなかにはさまざまな危険があるので、自己責任を忘れないためにも予備知識を持って行動する必要があります。

スズメバチの仲間には、オオスズメバチやキロスズメバチなど攻撃性と毒量の多い危険なハチがいます。

特にオオスズメバチは巣を構わなくても、ただ見ているだけで攻撃してくるという賢い判断をするハチなので、注意しなければなりません。



オオスズメバチ



キロスズメバチの巣

国の特別天然記念物に指定されているコウノトリが木津川市に飛来！荒淵池で小魚をついばむ姿が確認されました。

丘陵地開発が進む木津川市にあってもなお、豊かな自然が残る象徴ではないでしょうか。最近の確認されていますが、鹿背山で再びオオタカが営巣する日も近いかもしれません。



荒淵池に飛来したコウノトリ

里山学校

里山を遠い存在だと感じている大人や、里山遊びをしたことのない子どもたちに自然の恵みを受け、生命の不思議を知ってもらい、地域の里山に興味を持ってもらいたい、と始めた里山学校。来年度も開校予定ですので、家族で参加ください。募集の詳細は広報きづがわ4月号と市ホームページでお知らせします。



里山へGO！（里山活動に参加してみよう）

鹿背山で里山活動をしたいと思っても、木なんか切ったことないし、農作業をしたことがない人にはなかなか行けないですね。

現在、鹿背山では9つの団体が、鹿背山城の景観を保全したり、里山資源の持続的な活用や特産の柿の生産技術を伝承しながら恵みを分け合ったり、放置水田を耕してカスミサンショウウオの居場所を整備するなどさまざまな活動が進められていますので、まずは活動を見学することからはじめてみませんか。

気になる活動があれば、気軽に連絡ください。

木津北地区保全推進室（都市計画課内） ☎ 75-1222 ✉ kizukita@city.kizugawa.lg.jp